

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策No.116

記入日 平成25年7月19日

点検日 平成25年 8月 5日

施策名	健康を支える保健・医療の充実	施策担当マネージャー	健康福祉部次長	マネージャー氏名	望月 忠	内線	701
政策展開の基本方向	1 「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	政策	1.1 誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくれます				
関連計画・根拠法令等	①健康増進法 ②予防接種法 ③母子保健法 ④いきいきプラン健康がまがや21						

1. 施策の目的・成果	(1) 施策の対象(誰を、何を対象としているか。範囲は。)						
	市民全体(乳幼児から一般高齢者まで)を対象としています。						
	(2) 施策の意図(対象をどのような状態にするのか)						
市民が生涯にわたって、健康で明るく、元気に暮らせるようにします。							
(3) 施策の成果							
	指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	目標値 (目標年度27年度)
施策	平均寿命(男)	歳	79.3(平成17年)	80.0(平成22年)			延伸
	平均寿命(女)	歳	86.0(平成17年)	86.9(平成22年)			延伸
	自分の健康に満足している率(市民健康意識調査)	%		50.7			55.0
	乳児死亡率(出生千対)	人	2.3(平成21年)	6.2(平成22年)	0(平成23年)	0(平成24年)	減少
基本事業	健康のため食事に気をつけている市民割合	%		76.2			78.0
	運動習慣者の割合	%		男45.6%、女35.0%			維持
	自分に合ったストレス解消法を持つ人の割合	%		77.6			維持
	フッ化物洗口実施者数	人	1,986	1,967	2,009	2,017	3,922
	かかりつけ医の役割を知っている人の割合	%		54.6			増加
	病院・一般診療・医療機関数	箇所	58	59	64		現状維持
	市内への救急搬送割合	%	56.2	59.4	60.6	61.5	現状維持
	予防接種率(BCG)	%	98.5	96.3	101.2	94.4	現状維持
各種健(検)診の受診率(胃がん検診)	%	15.5	15.1	14.1	15.9	20.0	

2. コストの推移	年度	単位	平成21年度 決算	平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 決算見込み額	平成25年度 予算額	目標年度(年度) 今後の計画総額
	コスト・指標	千円	319,130	401,183	519,566	538,978	547,336	0
	(1) 総事業費 自動計算	千円		6,558	1,327	513	702	
	① 国庫支出金	千円	517	1,134	98,910	79,860	30,459	
	② 県支出金	千円						
	③ 市債・その他財源	千円						
	④ 一般財源	千円	318,613	393,491	419,329	458,605	516,175	
	(2) 総所要時間(0.5単位) ①+②+③ 自動計算	時間/年	67,517	69,225	68,524	66,666	0	0
① 正職員(時間内)	時間/年	49,159	48,897	46,967	44,652			
② 正職員(時間外)	時間/年	1,588	2,050	1,583	1,947			
③ 非常勤職員	時間/年	16,770	18,278	19,974	20,067			

3. コスト説明	(1) 市民一人あたりコスト	円	495	(2) 全施策中の順位	この施策は、全42施策中	10	番目にコストをかけています。
----------	----------------	---	-----	-------------	--------------	----	----------------

4. 環境分析	(1) 過去5年間で施策を取り巻く環境はどのように変わったか	生活の多様化、新たな感染症の発生、生活習慣病の増加、育児支援の必要な家庭の増加、自殺者の増加等がありました。また、予防接種法の改正、がん対策基本法の制定等が行われ、施策も増加してきました。	(2) 今後施策を取り巻く環境はどのように変わることが予想されるか	高齢化の進展から、生活習慣病、歯科疾患の増加が見込まれ、この結果、医療費は増加傾向が見込まれます。
	(3) 施策について市民や議会の意見(市民意識調査、個別要望・意見等)	検診や予防接種の充実、健康づくりなど、予防により健康増進に資する施策の充実が必要です。	(4) 国・千葉県の方針並びに関係法規等の変化	国においては、社会全体でも健康づくりを支援していくことが必要として、健康日本21では、健康寿命の延伸等をめざし、国民が一体となった健康づくり運動を推進していくとしています。

5. 施策を構成する事務事業の状況※施策中優先順位順に記載	優先度	事務事業名	担当課							
	A	予防接種に要する経費	健康増進課							
		母子保健に要する経費	健康増進課							
		子宮頸がん等ワクチン接種事業	健康増進課	①施策の中で優先度が高い事務事業から順に、A→B→Cの3区分で表示しています。 ②優先度の判断は、「施策貢献度」「行政の果たす役割の大きさ」「投資効果」「市民ニーズ」「緊急性」の5つの尺度で相対的に判断した結果です。						
		歯科保健に要する経費	健康増進課							
		各種健(検)診に要する経費	健康増進課							
	精神保健に要する経費	健康増進課								
	B	食育推進関連啓発事業	健康増進課							
		成人保健に要する経費	健康増進課							
		胃部及び胸部レントゲン撮影機器更新事業	健康増進課							
	C	健康づくり推進に要する経費	健康増進課							
		保健衛生事務に要する経費	健康増進課							
		健康管理事務に要する経費	健康増進課							
		予防事務に要する経費	健康増進課							

6. 評価・検討	(1)行政関与の妥当性	3:高い	(理由)なぜ、市が関与する必要があるのか?市民等との役割分担は適切か? 健康増進法、予防接種法、母子保健法により、各種健(検)診、予防接種等について、市が実施する必要があります。
	(2)目的妥当性	3:高い	(理由)施策の目的は政策にどのように結びついているか。 保健・医療の充実により健康を支えていくことは、健康に暮らせる生涯福祉社会の形成に大きく寄与しています。
	(3)公平性	3:高い	(理由)対象は偏っていないか?対象を広げたり、狭めたりできないか? 予防接種や各種健(検)診など法令により対象者が定まっています。
	(4)有効性	3:高い	(理由)この施策を廃止した場合支障があるか。同じ目的を持つ他の施策はあるか?さらに成果指標を伸ばせないか? 市民の健康への施策は、本施策しかないため、廃止はできません。
	(5)効率性	2:普通	(理由)コストがかかりすぎていないか?どうしたらコスト、所要時間を縮減できるか? 病気になると、医療費が増加します。医療費削減のためには、予防が重要です。予防接種や各種健(検)診、健康相談、健康教育等による健康を維持する施策が必要不可欠です。
	(6)総合評価	6:精査・検証	(今後の方向内容) 今後さらに高齢化が進んでいくことから、医療費の増加が見込まれます。本施策の充実により、医療費だけでなく、扶助費などの増加も抑制できるように事業を展開していくことが必要です。さらに市民が健康を維持し、活気ある鎌ヶ谷になるように努めていきます。

7. 改革・改善案	(1)改革・改善の方向	予防接種、各種健(検)診、健康相談及び健康教育等を実施率を向上させて医療費や、扶助費などの増加を抑制していきます。
	(2)改革・改善案の概要 ※指標改善の根拠とコストを示す	健康に対する正しい知識を市民にお知らせし、健康維持につながる生活習慣となるように支援していきます。
	(3)改革・改善案の問題要因と克服策	スリム講座や地域での健康教育、健康相談等を通して、生活習慣の見直しの機会、知識の普及啓発を図ります。
	(4)改革・改善案導入の考え方 ※施策担当マネージャー所感	高齢化社会に伴う医療費の増加は避けられない状況にあります。その中で、医療費の削減ということだけではなく、市民自らが元気で楽しい生活を送るために、健康を維持していくことが重要との意識をもつようにはしていかなければなりません。このため、様々な機会を通じて、予防の重要性を伝え、市民の健康が継続するように事業を推進していく必要があります。

8. 成果とコストの方向性	成果の方向性	向上			
	維持			○	
	低下				
	コストの方向性	縮減	維持	増加	

成果とコストの方向性に関する説明

新たな予防接種の実施などや妊婦一般健康診査の公費助成の充実などここ数年予防にかかるコストの上昇が続いています。市民が健康な生活ができるようにするためには、検診は予防接種などは不可欠であり、さらに健康を維持する生活習慣をもつように市民自らが意識する必要があります。その結果として医療費や扶助費の削減につながるようする必要があります。

※評価検討(1)~(5) 1:低い, 2:普通, 3:高い, 4:あてはまらない
 ※総合評価検討(6) 1:終了, 2:廃止, 3:休止, 4:縮小, 5:改善, 6:現状維持, 7:拡充

1 終了:事業が完了したので、終了する	2 廃止:事業を廃止する	3 休止:再開を前提に休止する
4 縮小:好ましくない状況なので、規模を縮小する	5 改善:事業実施方法等について、改善した上、継続する	6 精査・検証:精査・検証の上、継続する
7 拡充:重点的に資源を配分し、規模を拡大する		